

相武台周辺地域小・中学校の 学習環境のあり方検討協議会 ニュース

令和2年1月発行
相武台周辺地域小・中学校の
学習環境のあり方検討協議会

第4号

令和元年12月9日に開催した第5回検討協議会では、次に掲げる事項を踏まえ、相武台周辺地域の小・中学校（相武台小、緑台小、もえぎ台小、相武台中）において、過小規模校が生じている課題等の解決に向けた検討に入りました。



課題解決方策の基本的な考え方

●学校規模について

子どもたちが、学校生活において、多様な人間関係に触れながら、様々な活動を通じて切磋琢磨できるよう、望ましい学校規模の実現を図る。

●小中一貫教育について

子どもたちが、未来を切り拓く力を養えるよう、小中一貫教育の良さを最大限に生かし、より充実した教育を継続的に展開できる環境の実現を図る。

●通学時の安全確保について

子どもたちが、登下校において、安心して通学できるよう、通学距離や道路事情などを考慮した安全対策の充実を図る。

●放課後等の子どもの居場所について

子どもたちが、放課後や休日も、地域で安心して過ごせるよう、様々な居場所を確保するなど、子育て環境の充実を図る。



課題解決方策（案）の検討の進め方について

検討協議会の議論を踏まえ、基本的な考え方に沿って、複数の具体的な再編案等を作成していきます。今後も、子どもたちにとって望ましい学習環境を実現する視点を持って、メリット、デメリットを考察し、比較・検討を行っていきます。

学校規模、通学距離等に重点を置いた具体的な再編案について、意見交換、検討を行いました。

《各委員からの主な意見》

【学校規模】

- ・ 3校（相武台小、緑台小、もえぎ台小）を残し、学区を変更しただけでは、これからも児童が少なくなっていくので、過小規模校の問題は解決しない。
- ・ 小学校について、3校を2校に再編したとき、2校の児童数が同規模になると良い。

【学校施設】

- ・ 学校施設に余裕の無い学校に児童が片寄ると、教室不足等の不安がある。

【通学距離・通学時の安全確保・学区】

- ・ 学区を再編するとき、通学距離があまり遠くならないと良い。
- ・ 通学距離が短くなるように学区を再編しても、少数の児童が転校することになれば不安だと思ふ。
- ・ 同一自治会内では、学区を分けない方が親も児童も安心だと思ふ。学校と地域の連携・協力もしやすい。自治会内で学区が分かれてしまうと、登校班の編成が難しい場合もある。
- ・ 現行の学区が、自治会区域の境と合致している所は、現状のままだが望ましい。
- ・ 中学生になると相武台中と若草中に分かれる児童が、一緒に相武台中に行けるとよい。

【その他】

- ・ 再編により学校が減ると、避難所としての利用が難しくなる。
- ・ 再編の時期、方法等について、検討が必要。
- ・ 相武台中、若草中の再編の検討を行うのか。
- ・ 就学校の選択が出来る措置もあると良い。



今後、この他の再編案も含め、比較・検討を行います

お知らせ

「相武台周辺地域小・中学校の学習環境のあり方検討協議会ニュース」は、相武台小学校、緑台小学校、もえぎ台小学校及び相武台中学校の保護者の方に配付するとともに、相武台地域の自治会に回覧しています。

検討協議会の結果概要と資料は、市の行政資料コーナー、相武台公民館、相武台小学校、緑台小学校、もえぎ台小学校及び相武台中学校でご覧いただけます。

次回（第6回）検討協議会は令和2年2月頃、相武台まちづくりセンターで開催予定です。

事務局（お問合せ先） 相模原市教育委員会教育局教育環境部学務課

（電話）042-769-8282